

第5回 AITE 定例会（2009年7月14日）報告

投稿者：陳 草（書記・言語領域 M2 在籍）

第5回定例会報告

2009年7月14日（火） 20：10～21：40 於：立教大学 11号館 A303室）

テーマ：『異文化コーチングの実践ワークショップ』

講師：ケンパー・マティアス（AITE 代表）

参加者：7名

会員 各位

拝啓 蝉も元気に歌い出す緑溢れるこの季節ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

前期もいよいよ終わりに近づく中、先日、AITE 第5回定例会が無事に終了しましたことをご報告させていただき、感謝を申し上げます。

今回の定例会では、ケンパー・マティアス氏が自身が企画、開催された異文化コーチングの実践ワークショップを例にとりあげ、皆さんとワークショップの企画方法や、注意点などについて幅広く議論しました。

ケンパー氏によると、今のように不況な時代では真っ先にカットされるのは研究費です。今企業が求めているのは「低価格で高品質」のもので、それがコーチング業界にも反映されているようです。特に異文化を扱うセミナーに関しては「企画しやすいが、ちゃんと結果につながらなければだめ」といった感じです。

つづいて、ケンパー氏は自分が実際に「コミュニケーションは解釈である」ことに重点を置いたセミナーについて話しました。特に導入部分の **eye breaking** に使った絵を、「伝えるより、相手の解釈の仕方に注目すべき」ことに導くことが皆の関心を惹きました。

そこで、参加者の方々がさっそく「解釈に気づかせる方法」について意見を発表しました。固形物体を見せ、物が見る方法で色んな側面があることや；絵を使って、ほかの人に伝えることや；「自分はこういう人間」を単語コードで発表することなど会場にアイデアが溢れていました。

更に、実践のコーナーでは参加者がグループ分けして、「バカでもわかる日本人の取り扱い書」を作成し、会場が盛り上がりました。

定例会の最後で、ケンパー氏は現在日本コーチング界で、また専門性と人間性の両方を備えつけた講師がいないことを嘆く一方、自分これからの課題として「抽象的なものをどのように具体的なものに導くか」を提示し、第5回 AITE 定例会を終えました。

この報告書を読んでいらっしゃる方々の中で、もしケンパー氏に感想やアドバイスなどがあれば、是非 aite@ibunka-coaching.com までお知らせください。

では、また次回の定例会にお会いすることを楽しみにしています。

敬具

追伸：連絡事項です。

1 ケンパーの勉強会より

後期に開催時間が減るため、

代わりに本人（ケンパー・マティアス氏）修士論文の進み具合を AITE ホームページで掲載します。

チェックとフィードバックをお願いします！

2 M1 向けのプロジェクトを開催予定

M1 と M2 の連携を作るためのプロジェクトです。

特に M1 の方々の構想発表などを手助けできればと思いますが、

「これいうことがやってほしい」という方がいれば、

pandagirl_cn@yahoo.co.jp (陳草宛) までご連絡をお願いします。

3 次回の定例会

(以下情報は予定になりますので、変動があることをご了承下さい。)

時間：9月23日、午後三時過ぎ

場所：未定

テーマ：コミュニケーションワークショップ

(ファシリテーションを中心)

担当：田島美和（異文化領域・M2 在籍）

以上